

保 健 保健体育科

科目	保健	(必修)	授業時数	1	単位
			履修学年	1	学年

目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
オリエンテーション	1	運動と健康	1	現代の感染症	1
健康の考え方と成り立ち	1	食事と健康	1	感染症の予防	1
私たちの健康とすがた	1	休養・睡眠と健康	2	性感染症・エイズとその予防	2
生活習慣病の予防と回復	2	喫煙と健康	2	健康に関する意志決定・行動選択	1
応急手当の意義とその基本	1	飲酒と健康	2	健康に関する環境づくり	2
日常的な応急手当	1	薬物乱用と健康	2	事故の現状と発生要因	1
心肺蘇生法	1	精神疾患の特徴	2	安全な社会の形成	1
がんの原因と予防	1	精神疾患の予防	2	交通における安全	1
がんの治療と回復	1	精神疾患からの回復	1		

教材
教科書:「現代 高等保健体育」大修館書店 自主作成教材(プリント)他

授業の進め方
座学形式の授業を行う。 教科書に即した学習用のノートを用いて授業を展開する場合もある。 ノート左側の問題に解答して、提出を求める場合もある。 また、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、 技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できるとともに、 目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。
	習得する (わかる)	個人及び社会生活における健康・安全について理解している。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できる。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(定期テストや課題等も含む)

単元別 評価規準

第1章 現代社会と健康

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	現代社会と健康について、自他の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解し、 疾病などに対して適切な行動をとることができる。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法などを 思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い知識を持ち、自らの健康を適切に管理することができる
	習得する (わかる)	現代社会と健康について、自他の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解している。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法などを理解している。	現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い知識を持ち、自らの健康を適切に管理する必要があることを理解している。

第2章 安全な社会生活

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解し、 応急手当を適切にすることができる。	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避方法を 考え、それらを表現することができる。	安全な社会をお形成するためには、事故等の防止に加え、傷害の軽減をすることが重要であることを理解しているとともに、 危険の予測やその回避の方法を行うことができる
	習得する (わかる)	安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を理解している。	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避方法を理解している。	安全な社会をお形成するためには、事故等の防止に加え、傷害の軽減をすることが重要であることを理解している。